

平成 29 年度 食育推進に係る実践報告書

学校名	庄原市立峰田小学校		
学校長氏名	山口 美穂	栄養教諭氏名	伊藤 真由美
職員数	11名	児童・生徒数	53名

1 学校における食育の現状（昨年度からの課題等）

本校は、庄原市の南部に位置し、中山間地にある全校児童 53 名の小規模校である。本校は、学校教育目標を『明日やりたいことがある』児童が集う活気ある学校 ～笑顔いっぱい 学びわくわく とともに伸びる子供の育成」と設定し、「食」についても主体的な学び、課題解決を図る児童の育成を目指している。また、地元の食材を通して体験学習の充実を図っている。

2 学校の食育に係る目標（成果指標・目標値）

- (1) 食事のマナーの定着と向上を図る。（正しい姿勢と箸の持ち方を身に付けさせる）
 - ① 正しい姿勢の定着 70%（低学年→背筋を伸ばして食べる 高学年→茶碗や皿を持ち、箸を正しく使って食べる等学年にあった評価）
 - ② 箸の持ち方 70%（低学年→箸を正しく持つ、中学年→箸を正しく使う、高学年→箸の上げ下ろしが正しくできる等学年にあった評価）
- (2) 朝食喫食率の向上と内容の充実を図る。
 - ① 「生活リズムアンケート」における朝食喫食率 100%。
 - ② 朝食喫食調査において、主食と副食をバランスよく食べている児童 80%。
- (3) 各学年に食に関する指導や授業を年間 2 回以上行う。
 - ① 全学年に 2 回以上の指導を行う。

3 食育の目標に対する具体的な取組

【取組 1】（テーマ）食事のマナーの定着と向上を図る。

- (1) 食育朝会及び給食時の具体的な指導
- (2) 担任、養護教諭と連携した個別指導
- (3) 給食掲示板を活用した指導
- (4) 給食だより等による家庭への働きかけ
- (5) 「食事マナーに係わるアンケート」実施

【取組 2】（テーマ）朝食喫食率の向上と内容の充実を図る。

- (1) 「生活リズムアンケート」における朝食喫食調査の実施（各学期 1 回）
- (2) 朝食喫食調査における食事内容調査の実施（第 3～6 学年を対象）

【取組 3】（テーマ）各学年に食に関する指導や授業を年 2 回以上行う。

- (1) 食に関する指導や授業の実施（全学年、年 2 回以上）

※ 第 1・2 学年→生活科・特別活動

第3学年→総合的な学習の時間

第4学年→特別活動

第5・6学年→家庭科・特別活動



**★第3学年
総合的な学習の時間**

地元食材の生産農家を訪問し、工夫しておられること等を学ぶ。

4 「ひろしま給食100万食プロジェクト」の取組について

- (1) 平成27年度より市内栄養士による献立検討会及び試食会を行っている。本年度は「熱く燃えろ！！Cスープ」を取り上げ、庄原市の郷土料理を基本に「ごはん・牛乳・磯の香りワニフライ・庄原たっぷりあえ・熱く燃えろ！！Cスープ」市内統一メニューを作成し、10月に市内全校で提供することができた。
- (2) 庄原中学校区の統一献立に、平成25年度からの「ひろしま100万食プロジェクトメニュー」も取り入れて、毎月1回以上実施できるように取り組んでいる。
- (3) 学校では平成25年度からの「ひろしま100万食プロジェクトメニュー」をすべて入れた献立表を各家庭に配付して、メニューのよさや作り方を知らせ、家庭でも調理できるように取り組んでいる。
- (4) 地域の野菜直販所（食彩館「しょうばらゆめさくら」）に献立を掲示し、市民に毎年の献立を紹介している。配付資料も設置している。



★食彩館

**「しょうばらゆめさくら」
での掲示**

「庄原の食」を一同に集めた施設食彩館「しょうばらゆめさくら」に学校給食コーナーを設置。

庄原地域栄養士会から毎月・食育の日メニューを紹介している。

5 取組に対する成果と課題

【成果】

- (1) 食事のマナーの定着と向上の取組により、マナーを意識して食事をしようとする児童が増えてきた。箸の正しい持ち方について、高学年は80%達成することができた。
- (2) 朝食調べにおいて、朝食喫食率が94.1%（6月）から98.1%（11月）と4%の向上がみられた。
- (3) 各学年において年間2回以上の食育指導を行うことができた。

【課題】

- (1) 食事のマナーにおいては、意識の向上と正しい姿勢や正しい箸の持ち方の定着が不十分である。
- (2) 朝食調べにおいて喫食率は向上したが、ごはんやパンと飲み物だけ等、食事の内容に課題が見られた。また、食べていない児童が固定化する傾向がある。第3～6学年児童には、主食・副食等食べた物の意識付けができるように調査項目を改善して朝食調べを行い、引き続き指導を行っていく。
- (3) 各学年、年間2回以上の食育指導は実施できたが、計画的に行うことができなかった。

6 今後の取組に向けた改善方策について

- (1) 食事マナーである配膳の仕方、箸の持ち方、食事時の座り方指導について視覚で分かる工夫を図る。
- (2) 朝食を喫食してくる習慣について、ただ食べるという意識ではなく、主食・主菜・副菜（味噌汁）というバランスのよい食事のパターンができるように、レシピ等の朝食作りのヒントを保護者に配付し、PTCなどの機会を使って、親子料理教室などに取り組む。
- (3) 食育の全体計画を見直し、担任と連携し、計画的に食育授業に取り組む。
- (4) その他
 - ・ 地産地消の推進を図るため、引き続き地元食材の生産者と連携し、食育授業等の計画を立てる。
 - ・ 食育環境の充実について、担任と連携した授業づくり、掲示物の整備、委員会活動の充実等を図り、食と健康と暮らしに関心をもち、実践できる児童の育成を目指す。
 - ・ 今年度、第3学年が「牛乳の出前授業」を受け、前年度の地域学習「牧場見学」と関連した体験活動を実施できた。再度、学年の系統性を見直し、児童にとってより深い学びを実現していく。

★第3学年「牛乳の出前授業」

